# 北見市における景気動向調査報告書

< 第 Ⅲ 四 半 期 >

北見商工会議所

# I. 調 査 要 領

# 1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調 査 時 点 平成25年1月17日
- (2) 調査対象期間 平成24年10月~12月期実績および平成25年1月~3月期見通しについて 調査した。

## 2. 調 查 対 象

北見市に所在する製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種150社を対象に、往復 ハガキにより調査した。

# 3. 回 収 状 況

企業数業種	対象企業数	回答企業数	回 答 率				
製造業	30社	2 3社	76.7%				
建設業	30社	23社	76.7%				
卸 売 業	30社	24社	80.0%				
小 売 業	35社	20社	57.1%				
サービス業	25社	18社	72.0%				
合 計	150社	108社	72.0%				

注)本調査結果の中で、D・I値とある記号は、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)で 好転企業割合から悪化企業割合を差し引いた値を示す

# Ⅱ.概 況

# 《全体の動き》

平成24年度第Ⅲ四半期<10月~12月>の北見市における業況は、前年比で「好転企業」22.2、「悪化企業」40.7、「好転」から「悪化」を差し引いたD・I値は $\triangle$ 18.5となっています。

このD・I 値を前年同期と比較してみると、前年同期比 $\triangle 11.0 \rightarrow \ominus$ 回 $\triangle 18.5 と 7.5 ポイントの悪化となっています。また、前期< <math>24$ 年度第 $\blacksquare$ 四半期>との比較では、前期 $\triangle 17.9 \rightarrow \ominus$ 回 $\triangle 18.5 と 0.6 ポイントの悪化で、ほぼ横ばいの結果となりました。$ 

今回の業況を業種別で見ると、製造業D・I値 $\triangle$ 8.8、建設業D・I値 $\triangle$ 4.3、卸売業D・I値 $\triangle$ 12.5、小売業D・I値 $\triangle$ 35.0、サービス業D・I値 $\triangle$ 38.9となっており、前年同期調査と比較すると、製造業で18.5、サービス業で2.2ポイント好転している一方、小売業で39.2、卸売業で17.3、建設業で0.3ポイント悪化となっており、卸売業・小売業ではD・I値がプラスからマイナスに転じる結果となりました。また、全てのD・I値がマイナスであり、特に小売業・サービス業ではマイナス値が30ポイントを超える高い数値であることから、厳しい状況が伺えます。

なお、来期の見通しを全業種で見ると「好転企業」 10.2% 「悪化企業」 40.7%でD・ I 値  $\Delta 0.5$  と、前年同期( $\Delta 21.1$ )と比べ 9.4 ポイント悪化となっており、来期も厳しい見通しとなっております。

## 《業種別の動き》

## 1) 製 造 業 生 産 高

前年比で「増加企業」17.4%、「減少企業」43.5%、 $D \cdot I$  値 $\triangle 26.1$  と前年同期に比べ、21.6 ポイントの大幅な悪化を示しています。

#### 採 算

前年比で「好転企業」13.1%、「悪化企業」39.1%、 D・I 値 $\triangle 26.0$  と前年同期に比べ16.8 ポイントの悪化を示しました。

来期見通し

業況D・I 値 $\triangle$ 17.4、生産高D・I 値 $\triangle$ 21.8、資金繰りD・I 値 $\triangle$ 17.4と業況・生産高では好転を示したものの、資金繰りでは悪化傾向を示しました。

#### 

前年比で「増加企業」34.8%、「減少企業」26.1%、D・I 値8.7 と前年同期に比べ12.7ポイントの好転を示しており、D・I 値がマイナスからプラスに転じる結果となりました。

採 算

前年比で「好転企業」 26.1%、「悪化企業」 30.4% D・I 値 $\triangle 4.3$ と前年同期に比べ 4.3ポイントの悪化を示し、前年0まで持ち直したD・I 値が、再びマイナスに転じる結果となりました。

来期見通し

業況D・I 値 $\triangle$ 17.3、完成工事高D・I 値 $\triangle$ 34.8、資金繰りD・I 値 $\triangle$ 17.4と前年同期に比べ全てのD・I 値で悪化傾向を示しており、厳しい来期見通しとなっています。

# 3) **卸 売 業** 売 上 高

前年比で「増加企業」 29.2% 「減少企業」 33.3%、  $D \cdot I$  値 $\triangle 4.1$  と前年同期に比べ 23.1 ポイント悪化傾向を示し、 $D \cdot I$  値がプラスからマイナスに転じる結果となりました。

採 算

前年比で「好転企業」12.5%、「悪化企業」33.3%、D・I 値 $\triangle 20.8$  と前年同期に比べ1.7 ポイントと若干の悪化傾向を示しました。

来期見通し

業況D・I 値 $\triangle$  2 5. 1、売上高D・I 値 $\triangle$  2 5. 1、資金繰りD・I 値 $\triangle$  2 0. 8 と前年同期に比べ、全て悪化傾向を示しており、マイナス値がいずれも 2 0 ポイント代になっていることから、厳しい来期見通しとなっています。

# 4) **小 売** 業 売 上 高

前年比で「増加企業」 15.0%「減少企業」 45.0%、 D・I 値 $\triangle 30.0$ と前年同期と比べて 25.9ポイントと大幅な悪化傾向を示しています。

採 算

前年比で「好転企業」 15.0% 「悪化企業」 45.0%、 D・I 値 $\triangle 30.0$  と前年同期と比べ 12.7 ポイントの悪化 傾向を示しています。

来期見通し

業況D・I 値 $\triangle$ 60.0、売上高D・I 値 $\triangle$ 70.0、資金繰りD・I 値 $\triangle$ 40.0と、前年同期と比べ、全て大幅な悪化傾向を示し、いずれも非常に高いマイナス値であることから、大変厳しい来期見通しとなっています。

*5) サービス業* 

売 上 高

前年比で「増加企業」 22.2%、「減少企業」 55.6%、 D・I 値 $\Delta 33.4$  と前年同期と比べ 2.0 ポイントの好転と、 わずかに改善しました。

採 算

第 前年比で「好転企業」 1.1.1%、「悪化企業」 5.5.6%、 D・I 値 $\triangle 4.4.5$ と前年同期に比べ8.4ポイントの好転を示し、マイナス値は未だ高いものの、改善が見られました。

来期見通し

業況D・I値 $\triangle$ 38.9、売上高D・I値 $\triangle$ 33.3、資金繰りD・I値 $\triangle$ 33.2と前年同期と比べ、売上高・資金繰りで好転しているものの、業況は悪化となっていることから、予断を許さない来期見通しとなっています。



# 業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

			1	位			2	位			3	位			4	位			5	位	
製	造	業	諸 経	費	増	得	意り	亡 減	少	同美	業者同	間の競	竞合	人	件	費	増	人	材	不	足
建	設	業	同業者	間の競	競合	得	意り	亡 減	少	諸	経	費	増	人	材	不	足	人	件	費	増
卸	売	業	同業者	間の意	競合	諸	経	費	増	得	意	七 減	少	人	材	不	足	人	件	費	増
小	売	業	得 意	先 減	少	同業	<b>美者</b> [	間の意	竞合	諸	経	費	増	人	材	不	足	売扌	卦金	回収	英難
サー	・ビフ	ス業	諸 経	費	増	同業	<b>美者</b> [	間の意	竞合	人	件	費	増	得	意り	七 減	少	人	材	不	足
合		計	同業者	間の第	<b>競合</b>	諸	経	費	増	得	意り	七 減	少	人	材	不	足	人	件	費	増

※ 問題点は、各業種とも3つ選択。

経営上の問題点における回答数のトップは「同業者間の競合」で、前年同期調査と同じ結果となった。 2位と3位は入れ替わったが、4位、5位は変動がなく、地域にとって慢性的な課題になっていること が伺える。また、「同業者間の競合」「諸経費増」「得意先減少」がサービス業を除く業種で $1\sim3$ 位を占めた。

# ※その他及び具体的な業界の問題点の記載事項

(製造) ○取引先からの値下げ要請、デフレの深刻化(一般機械)

(卸売) ○売上減少(食品)

- ○過当競争の激化(医療・介護福祉機器)
- ○価格競争激化、新規参入による競争もある(種苗・肥料・農薬農業資材)

(サービス) ○客の市外流出、公共料金の度重なる値上げ(ホテル【宿泊】)

# 業 況

# ※太字アンダーラインは複数企業が回答

製造業 ⇒ 好転(菓子、木製品建具、農業機械金属製品) 悪化(農業機械)

建設業 ⇒ 好転 (<u>電気</u>、一般住宅建築、内線工事) 悪化 (<u>建築</u>、土木とび土工、塗装、一般土木・給排水・衛生・冷暖房)

卸売業 ⇒ 好転(鉄鋼、建築資材・家具) 悪化(食品、家電)

小売業 ⇒ 好転(食肉、自動車) 悪化(画材、米穀)

サービス業 ⇒ 好転(なし) 悪化(<u>ホテル【宿泊】、飲食</u>、ホテル【宴会・宿泊】、クリーニング、理容)